

# 直方市通学路交通安全プログラム

## 危険箇所一覧（令和6年度）

年度	整理番号	小学校名	箇所(位置図等別紙)		危険な状況の説明	対応状況	対策内容
			道路種別	路線名			
H28	1	直方南	国道 市道	200号 丸山町2号線	歩道が狭く、危険。	対策中	歩道整備・道路改良
H29	1	新入	県道	直方鞍手線	歩道が狭くなっている箇所がある。	対策中	歩道整備・道路拡幅
H30	1	植木	市道	植木100号線	人通りが少なく、不審者情報有り。	対策検討 ソフト対策	防犯カメラ設置 警察によるパトロール
H30	2	植木	県道	中間宮田線	変則交差点のため危険(都市計画道路未整備)。	対策中	交差点改良・バイパス整備
R01	1	植木	市道	吉野・天神線	グリーンベルトはあるが、交通量が多く、道幅が狭く危険である。	対策中 ソフト対策	歩道整備 学校からの交通指導
R01	2	植木	県道	直方宗像線	交通量が多いが、歩道が途中までしかない。	対策中	歩道整備
R02	1	感田	市道	稗田・行常線	横断歩道がない。市営住宅側からはカーブして いて見通しが悪い。	対策中 ソフト対策	道路整備 学校からの交通指導

# 直方市通学路交通安全プログラム

## 危険箇所一覧（令和6年度）

年度	整理番号	小学校名	箇所(位置図等別紙)		危険な状況の説明	対応状況	対策内容
			道路種別	路線名			
R03	1	直方北	市道	上老良・我孫子線	J R 直方駅から県道福岡直方線に接続する路線であり、車の交通が多く歩道の幅員が狭小である。また、居立川の老朽化により陥没の恐れがあり、通学者歩行者及び通行車両が危険な状態である。	対策中	歩道整備
R03	2	直方北	市道	知古一丁目1号線 知古3号線	1級市道知古・感田線に接続しており車の交通量が多い。また片側に歩道が設置されていないため危険である。	対策中	歩道設置
R03	3	直方西	市道	山部23号線 山部39号線	歩道が明示されておらず危険である。また、道幅が狭く、車が通る際に児童と接触しそうになる場面があり、危険である。	対策済	道路拡幅・グリーンベルト設置
R03	4	感田	市道	赤熊・野口線 高板・内ヶ磯線	横断歩道があるものの、一部消えかかっている。交通量が多く危険である。	対策検討	標識設置
R03	5	感田	市道	感田100号線	道路の舗装状況が悪く、つまづく事象が起きている。転倒した際に車道に出る危険性がある。側溝蓋の割れ、路面の凸凹。	対策済 ソフト対策	舗装の補修 学校からの交通指導
R03	6	中泉	市道	中泉61号線	路側帯がなく、歩道がはっきりしない。	対策中 ソフト対策	道路整備 学校からの交通指導
R04	1	直方南	国道	国道200号	横断歩道の白線が、薄くなっている。	対策予定	横断歩道の塗直し

# 直方市通学路交通安全プログラム

## 危険箇所一覧（令和6年度）

年度	整理番号	小学校名	箇所(位置図等別紙)		危険な状況の説明	対応状況	対策内容
			道路種別	路線名			
R04	2	直方北	市道	知古一丁目1号線	児童が通学している7:00~8:00の時間帯に通学路を渋滞を避けるために抜け道として自家用車がスピードを出し通行している。9月26日(月)の登校時に、本校児童が実際に自動車の車体とランドセルが接触する事案が発生している。幸いにも怪我はなかったが、当該児童保護者をはじめ学校としても児童が安全に登校できない状況を心配している。	対策済	グリーンベルト設置
R04	3	新入	市道	下新入116号線	用水路に転落防止柵がないため転落の危険性がある。	対策済 ソフト対策	歩道の設置 交通安全教育の充実
R04	4	感田(一部直方東)	県道	直方水巻線	交通量が多い道路であるが、歩道が狭く自転車通行帯もなく危険な状態である。	対策中	歩道の設置・拡幅
R04	5	下境	市道	武谷線	車通りが多く、車速が高い。途中まで歩道用の路側帯がカラー(グリーンベルト)になっているが、途中からなくなっている。また、「学童注意」「スピード落せ」の表示が薄くなっており見えにくい。	対策中 ソフト対策	路面表示の塗直し 通学路の変更、教職員による危険箇所の巡回指導の強化、ボランティア等による立ち番指導等、交通安全教育の充実

# 直方市通学路交通安全プログラム

## 危険箇所一覧（令和6年度）

年度	整理番号	小学校名	箇所(位置図等別紙)		危険な状況の説明	対応状況	対策内容
			道路種別	路線名			
R04	6	直方東	国道	国道200号	交通量が多い交差点であり歩行者、自転車のルートが不明瞭なため危険な状態である。	対策中	歩道設置・拡幅、交差点改良
R04	7	直方東	国道	国道200号	交通量が多い道路であるが、歩道が狭く危険な状態である。	対策中	歩道の設置・拡幅
R04	8	感田	市道	感田205号線 感田197号線 製鉄団地線	グリーンベルトが途中からない。（浄福寺幼稚園周辺） グリーベルトが塗装されていた所も消えかかっている。わかりにくくなっている。	対策検討 ソフト対策	路側帯のカラー舗装化 ボランティア等による立ち番指導等、交通安全教育の充実
R05	1	直方南	市道	上老良・我孫子線	横断歩道の白線が消えかかっている。	対策予定 ソフト対策	横断歩道の塗直し 教職員による危険箇所の巡回指導の強化、ボランティア等による立ち番指導等、交通安全教育の充実
R05	2	直方南	市道	新町二丁目2号線	歩道の白線が消えている。児童が歩くときに道幅も狭いため車が寄ってきて危険である。	対策済 ソフト対策	外側線塗直し ボランティア等による立ち番指導等、交通安全教育の充実

# 直方市通学路交通安全プログラム

## 危険箇所一覧（令和6年度）

年度	整理番号	小学校名	箇所(位置図等別紙)		危険な状況の説明	対応状況	対策内容
			道路種別	路線名			
R05	3	直方南	市道	新町二丁目2号線	道幅が狭くライトも薄く、トンネルの中を通る児童の姿が見えにくく危険である。	対策検討 ソフト対策	トンネル内電球等増灯 教職員による危険箇所の巡回指導の強化、ボランティア等による立ち番指導等、交通安全教育の充実
R05	4	直方北	市道	知古一丁目1号線	道幅が急に狭くなっており、且つ路側帯も狭いため、登下校中の児童生徒と走行中の車両との接触の危険性が高い。走行している車両は、比較的速い速度で通過することが多く、事故の危険性が高いと思われる。	対策済 ソフト対策	グリーンベルトの設置 交通安全教育の充実
R05	5	直方西	市道	山部60号線	通学路ではあるが、歩道がない。道が狭いのにスピードを出す車が多い。高校生の自転車とすれ違うとき、避ける所がない。	対策検討 ソフト対策	路側帯の設置、グリーンベルトの設置 交通安全教育の充実
R05	6	新入	市道	上新入114号線	①通行する児童が多く、バスも通り、交通量も多いため、路側帯のカラー舗装化が必要。また、路側帯の一部が側溝の蓋となっており、段差があるため、児童が歩行しづらい。路側帯の整備が必要。②通学する児童が多いので、通学路の標識（黄色ひし形）が必要。	対策検討 ソフト対策	路側帯のカラー舗装化 児童への適宜指導

# 直方市通学路交通安全プログラム

## 危険箇所一覧（令和6年度）

年度	整理番号	小学校名	箇所(位置図等別紙)		危険な状況の説明	対応状況	対策内容
			道路種別	路線名			
R05	7	新入	県道	直方鞍手線	交通量が多いため、横断歩道が途中から消えている。	対策予定	横断歩道の塗直し
R05	8	新入	市道	旧軌道線	グリーンベルトの劣化、樹木、雑草が生い茂り危険性がある。	対策済 ソフト対策	グリーンベルトの塗直し 交通安全教育の充実
R05	9	福地	県道	田川直方線	上境地区からの登下校中、田川直方バイパスの上境交差点が危険である。交通量も多く、スピードを出す車が往来していて、車の風圧で帽子が飛ばされることもある。信号待ちの歩道が狭く、限界まで後方に下がって待つよう保護者は声かけをしている。	対策検討 対策予定 ソフト対策	路肩の拡幅 横断歩道の塗直し ボランティア等による立ち番指導等
R05	10	福地	市道	福地線	永満寺橋から、畑方面への通学路について、永満寺橋付近は片側にしか歩道がなく、横断歩道を渡って歩道を通っている。ところが、先へ進むと歩道がなくなり、今度は反対側に歩道がある。そのため、途中から反対側に横断しなければならないが、横断歩道がないため、渡る際に危険である。さらに、渡ってしまっても、畑方面へ行くには、再度横断歩道のない道路を渡る必要があるが、電柱付近になると通行できなくなる。	ソフト対策	ボランティア等による立ち番指導等、交通安全教育の充実

# 直方市通学路交通安全プログラム

## 危険箇所一覧（令和6年度）

年度	整理番号	小学校名	箇所(位置図等別紙)		危険な状況の説明	対応状況	対策内容
			道路種別	路線名			
R05	11	植木	市道	植木144号線	車両通行禁止時間帯が16:00～18:00となっているが、16:00前には児童の下校時間帯と重なり、危険である。	対策検討	道路標識規制時間帯の変更
R05	12	植木	県道	中間宮田線	横断歩道の白線が消えかかっている	対策予定	横断歩道の塗直し
R05	13	植木	市道	植木111号線	「学童〇〇」の文字消えかかっているため、通学路であることが車にとって分かりにくい。	対策済	道路表示及び路側帯白線の塗直し
R05	14	植木	市道	植木111号線	通学路の標識が歪んでおり、落下する可能性がある。	対策予定	道路標識の取換え
R05	15	直方東	市道	頓野66号線	グリーンベルトの区間であるが、そもそも幅が非常に狭い上、草木が歩道にはみ出しており、車道にでないと歩くことができないため、非常に危険である。グリーンベルトの色も、ほとんど見えなくなっている。	対策検討	警戒標識・路面表示の設置、グリーンベルトの塗直し
R06	1	直方北	県道	直方芦屋線	歩道の点字ブロックが破損やはがれているため、でこぼこしている。歩行するのに危険である。	対策予定 ソフト対策	点字ブロックの整備 教職員による危険箇所の巡回指導の強化、交通安全教育の充実

# 直方市通学路交通安全プログラム

## 危険箇所一覧（令和6年度）

年度	整理番号	小学校名	箇所(位置図等別紙)		危険な状況の説明	対応状況	対策内容
			道路種別	路線名			
R06	2	直方北	市道	下原田・川久保線	横断歩道の白線が消えている。	対策予定 ソフト対策	横断歩道の塗直し 教職員による危険箇所の巡回指導の強化、交通安全教育の充実
R06	3	直方北	市道	須崎町12号線 日吉町11号線	道幅が狭く、グリーンベルトの設置を要望。	対策予定	路側帯のカラー舗装化
R06	4	直方北 直方三中	市道	感田2号線 知古4号線	道幅が狭く、グリーンベルトの設置を要望。	対策検討	路側帯のカラー舗装化
R06	5	直方北 直方三中	市道	感田2号線	道路に沿って、農業用用水路がある。蓋が無い ため、すべったり、躓いたりすると、落ちてしま う可能性がある。	対策検討 ソフト対策	防護柵・蓋の設置 教職員による危険箇所の巡回指導の強化、交 通安全教育の充実
R06	6	直方西	市道	山部・高木線	横断歩道の片側車線の塗装がほぼ消えていて、 横断歩道の有無がはっきりしない状況で危険で ある。	対策済	横断歩道の塗直し
R06	7	直方西	県道	福岡直方線	横断歩道の片側車線の塗装がほぼ消えていて危 険である。	対策予定	横断歩道の塗直し

# 直方市通学路交通安全プログラム

## 危険箇所一覧（令和6年度）

年度	整理番号	小学校名	箇所(位置図等別紙)		危険な状況の説明	対応状況	対策内容
			道路種別	路線名			
R06	8	新入	市道	下新入31号線	雨天時に用水路の水かさが増し、水深が1mを越える。児童が落ちる危険があり、柵が必要だと考える。今年も低学年児童が落ちたことがあった。	対策済 ソフト対策	蓋の設置 教職員による危険箇所の巡回指導の強化、交通安全教育の充実
R06	9	新入	市道	旧軌道線 外町・御館山線	登下校する児童の人数は多いが車の通りも多い。中央線が消えて見えない。路側帯ブロックはあるが、草が生え、よく見えない場所もある。また、夜間は路側帯が目立たないため、危険である。路側帯の草を刈り、色をつけたり反射板等をつけたりして、夜でも目立つようにする必要がある。	対策中 ソフト対策	中央線・外側線の塗直し 教職員による危険箇所の巡回指導の強化、交通安全教育の充実
R06	10	感田	市道	赤熊・野口線	道幅が広く、交通量の多い道路を横断する際に、横断歩道が無く、登下校の際に危険な状況となっている。また、通行する車両は、道路の幅が広いので、かなりスピードを出して走行しているため、注意喚起の表示などが必要である。	対策中 ソフト対策	横断歩道の新設、「スピード落とせ」等の車道への注意喚起 教職員による危険箇所の巡回指導の強化、交通安全教育の充実
R06	11	感田	市道	感田二号線	道路が狭く、車の通行があるが、グリーンベルトが途中から無い。	対策検討 ソフト対策	路側帯のカラー舗装化 交通安全教育の充実
R06	12	感田	国道	国道200号線	横断歩道があるものの、一部消えかかっている。交通量が多く、危険である。	対策予定	横断歩道の塗直し

# 直方市通学路交通安全プログラム

## 危険箇所一覧（令和6年度）

年度	整理番号	小学校名	箇所(位置図等別紙)		危険な状況の説明	対応状況	対策内容
			道路種別	路線名			
R06	13	感田	市道	湯野原11号線	横断歩道があるものの、一部消えかかっている。交通量が多く、信号機がないため、車との接触が予想され大変危険である。	対策予定 ソフト対策	横断歩道の塗直し 教職員による危険箇所の巡回指導の強化、交通安全教育の充実
R06	14	感田	市道	製鉄団地線	車道に印字されていた注意喚起のための文字や一時停止の線が消えて見えにくくなっている。	ソフト対策	交通安全教育の充実
R06	15	感田	市道	感田100号線	電柱に表示してある通学路注意の札が劣化し目立たなくなっている。横断歩道の周辺が緩やかなカーブで見通しが悪い。	ソフト対策	教職員による危険箇所の巡回指導の強化、交通安全教育の充実
R06	16	上頓野	市道	馬場線	横断歩道が消えかかっている。	対策済	横断歩道の塗直し
R06	17	上頓野	市道	頓野22号線	道幅が狭く、カーブのためガードレールが設置されているが、途中で切れていて、自動車と児童が接触する可能性が高い。	ソフト対策	教職員による危険箇所の巡回指導の強化、交通安全教育の充実
R06	18	上頓野	県道	直方行橋線	車の交通量が多い三差路で、カーブになっているため見通しが悪い。児童がその横断歩道が無い道路を横切るのは危険すぎる。	対策検討	横断歩道の新設
R06	19	上頓野	県道	直方行橋線	緩やかな坂道のため、スピードが出やすい道路である。点滅信号が付いているが、児童が横断する際の安全確保ができていない。	ソフト対策	教職員による危険箇所の巡回指導の強化、交通安全教育の充実

# 直方市通学路交通安全プログラム

## 危険箇所一覧（令和6年度）

年度	整理番号	小学校名	箇所(位置図等別紙)		危険な状況の説明	対応状況	対策内容
			道路種別	路線名			
R06	20	下境	県道	田川直方線	主要道路のため車通りが多く、車速が高い。歩行者用の横断歩道のラインが薄くなっていて、歩行者にも運転手にも見えづらい。	対策予定 ソフト対策	横断歩道の塗直し 教職員による危険箇所の巡回指導の強化、ボランティア等による立ち番指導等、交通安全教育の充実
R06	21	福地	市道	上境54号線	新1年生を含めた児童が横断歩道のない道路を渡って登校する状況である。見晴らしの良い直線道路であるが、そのため、通行車両もスピードが出ている場合もある。通学路標識はある。	ソフト対策	教職員による危険箇所の巡回指導の強化、交通安全教育の充実
R06	22	福地	市道	上境54号線	新1年生を含めた児童が歩道もガードレールもない道路を歩いて登校する状況である。見晴らしの良い直線道路であるが、そのため、通行車両もスピードが出ている場合もある。	ソフト対策	教職員による危険箇所の巡回指導の強化、交通安全教育の充実
R06	23	中泉	市道	中泉62号線	道幅が狭く、自動車が離合する場合はぎりぎりの状態である。幹線道路の迂回路になるため、特に児童の登校時には多くの自動車が往来している。トンネルの中とそこに続く道には路側帯がないため、児童や自動車に歩行場所の注意を促すためにも、路側帯のカラー舗装化と学童注意などの標識の設置を要望する。	ソフト対策	教職員による危険箇所の巡回指導の強化

# 直方市通学路交通安全プログラム

## 危険箇所一覧（令和6年度）

年度	整理 番号	小学校名	箇所(位置図等別紙)		危険な状況の説明	対応状況	対策内容
			道路 種別	路線名			
R06	24	植木	市道	下新入・植木線	横断する児童が多いが、横断歩道がなく、児童が登下校する際に危険である。	対策検討	横断歩道の新設
R06	25	直方東	市道	頓野83号線	一時停止が無いいため、車がスピードを出して歩道に進入している。	ソフト対策	教職員による危険箇所の巡回指導の強化、交通安全教育の充実
R06	26	直方東	市道	宮ノ前・頓野団地線	横断歩道及び停止線が消えかかっている。	対策済	横断歩道の塗直し
R06	27	直方東	市道	宮ノ前・頓野団地線	頓野畠中交差点から直方東小前歩道橋までの間に横断歩道が無いいため、その途中で横断する姿が多く見られる。特に「くすりのミヤタ」から「スーパー新選組」付近で横断が見られ危険である。	ソフト対策	交通安全教育の充実
R06	28	直方東	市道	出山・浦田線	横断歩道及び停止線が消えかかっている。	対策予定	横断歩道の塗直し
R06	29	直方北 直方三中	市道	新知町1号線	新入小学校区や直方西小学校区から登下校する生徒が新正橋を通り、階段を利用した場合、階段下の道路を渡るための横断歩道などが無く、通行量も比較的多いため、生徒の登下校時に車との事故の危険性が高い。	ソフト対策	教職員による危険箇所の巡回指導の強化、交通安全教育の充実